

# ☆ 長崎バリアフリー通信 ☆ Vol 2 (第2回 バリアフリータウンミーティングの報告)

発行日 2010年3月3日 発行人 オフィス「夢」・長崎バリアフリーサークル Ami 代表 管田多津子  
〒851-2127 西彼杵郡長与町高田郷 1933 TEL / FAX (095) 855-2111

2010年1月31日(日)長崎市茂里町ハートセンターで第2回バリアフリータウンミーティングを開催しました。新聞掲載の反響で私自身戸惑うこともありましたが、皆さんそれぞれがバリアフリーについて意見を下さり、今後の街づくりへの関心の高さを感じました。



バリアフリータウンミーティングを前に長与町役場へ庁舎内の「バリアフリー化」について要望書を提出しました。職員方皆様、真剣に意見を聞いて下さり、バリアフリー化について理解してもらう為には「伝える事」の大事さを痛感しました。



今回、21名の参加者の皆さんにバリアフリーへのアンケートを頂きました。ご協力くださった皆様。ありがとうございました。

<アンケート回答>

- ・ 県美術館のトイレが電動車椅子で使用した場合、狭さを感じる。(60代女性)
- ・ 歩道のちょっとした斜面に危険を感じる。(50代男性)
- ・ ハートビル法に則って設計された商業施設は安心して利用できる。(60代男性)
- ・ 物のバリアフリーより心のバリアフリーを取り組む事が大事。(20代男性)
- ・ エスカレーターの速さの改善を考えて欲しい。(40代男性)
- ・ 教育現場のバリアフリー化を進めて欲しい。(40代男性)

今後、この会は「街のバリアフリーの利便性・推進」について、向上出来る意見交換の場にして行きたいと思っています。

今回の要望書では庁舎内のカウンターの高さの改善やトイレの設置、ATM前の広さの確保、駅のバリアフリー化など8つの要望を提出させて頂きました。要望書についての回答書を2月末に頂きました。テーブルの高さについてはカウンターの一部を改修し、椅子を設置するように進めて頂ける事になりました。ATM前のスペースも植木鉢や空き缶入れを移動してもらい、以前より約40cmのスペースが出来、床には利用者の方に並ぶ様、促すマークと矢印をつけて頂きました。

これからも一歩ずつですが「街の中のバリアフリー化」を進めていけるように努力していきたいと思っています。